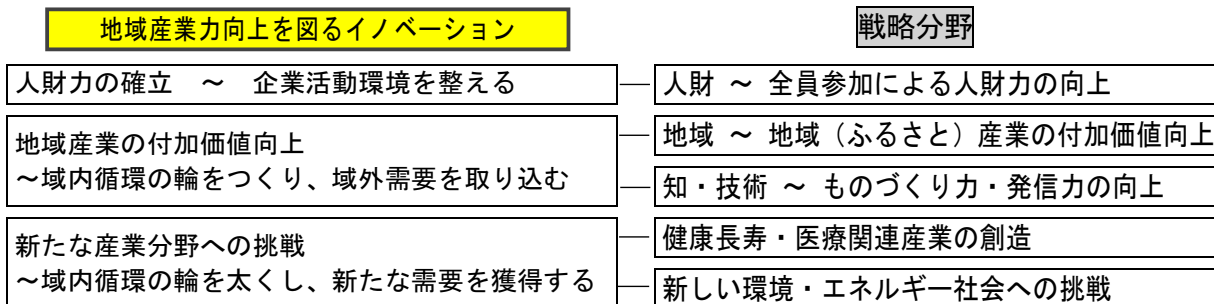


「地域経済の強化に向けた基本方針」に基づく取組について（平成30年度） 【概要版】

令和元年7月
経済部経済企画局
経済企画課

1 地域経済の強化に向けた基本方針について

「地域経済の強化に向けた基本方針」は、本道の地域経済の強化に向け施策展開していくための、道の「基本的な考え方」を整理したものです。



2 平成30年度の主な取組について

戦略分野1：人財～全員参加による人財力の向上

○企業人財や次世代産業人材の育成

観光に携わる人材のスキルアップ研修を実施し、増加が続くインバウンドの円滑な受入に向けた体制整備を推進した。

通訳案内士等育成研修（英・中・韓の3カ国語合計で254名受講）、現場対応者向け研修（全道11箇所で開催）等

○女性、若者、高齢者、障がい者など様々な層の就業・活躍促進

ジョブカフェ北海道に設置した「マザーズ・キャリアカフェ」に女性の就職支援カウンセラー「マザーズ・コンシェルジュ」を配置し、再就職を希望する子育て中の女性等に対するきめ細かなカウンセリングを行い、就業を促進した。

女性向けイベントへの相談ブース出展、女性向けセミナーの実施（3か所）、就職内定数171名（目標100名）

○賃上げ・正規化等の促進

「ほっかいどう働き方改革支援センター」を設置・運営し、企業の就業環境の改善などに係る包括的な支援をワンストップで実施するとともに、業界団体と連携した改革プランの作成などにより、働き方改革の取組を促進した。

電話等による相談対応（187件）、アドバイザー派遣（40件）、改革プラン作成

○U・Iターンの促進

インターネットを活用した求人・求職情報の提供や「U・Iターンサポートデスク」の運営、首都圏の大学等が主催する就職説明会における道内求人企業情報の提供などにより、若年者のU・Iターンを促進した。

北海道U・Iターンフェア、首都圏等の大学就職相談会、民間就職説明会への参加によるU・Iターン就職者数34名

新規就農者（学卒・Uターン・新規参入）への説明会や研修などを、自治体や農協等が連携して実施し、就農者の増加と定着を促進した。

新規就農者説明会等への参加（相談件数40組程度）、研修・交流会や情報・意見交換会、新規就農者トレーナー育成研修会の開催

戦略分野2：地域～地域（ふるさと）産業の付加価値向上

○女性や若者の創業と事業承継

新たな経営者が株式の買収資金を準備する間、官民が連携して設立した「北のふるさと事業承継支援ファンド」が株式を一時保有し、小規模企業の円滑な事業承継を支援した。

平成30年度までの投資決定件数 ～ 5件 77,627,056円

地域課題解決に資する優れた起業プランを選出・表彰するとともに、ふるさと納税の仕組みを活用して、初期投資の一部を助成することにより、道内の企業を促進した。

初期投資の一部助成（補助交付額5,842千円（クラウドファンディング2,948千円）

○地域資源を活用し、ターゲットを明確化した食の高付加価値化や観光地づくり・観光プロモーション

地域の新たな食関連商品を発掘し、ターゲットとする市場に受け入れられるよう、磨き上げから販路拡大まで段階的な支援を実施するなど、地域ブランド化の推進を図った。

食の磨き上げ相談会（道内6圏域・119名）、民間企業との連携による個別相談会（札幌、東京、大阪・70名）への参加

戦略分野2：地域～地域（ふるさと）産業の付加価値向上【続き】

○地域商業の活性化

空き店舗を活用した高齢者や子育て世代、観光客などの交流、生活サービス支援等に資するコミュニティ拠点づくりの取組を支援し、空き店舗解消による商店街の魅力アップと賑わい再生を促進した。
まちなか活性化のためのコミュニティスペース整備事業等4件を採択

戦略分野3：知・技術～ものづくり力・発信力の向上

○ものづくりの支援ネットワーク構築

自動走行に係る実証試験の誘致や研究開発拠点化に向け、産学官連携により、情報共有を図ったほか、企業等に対し道内の公道外試験適地調査のPRを実施した。

「自動車安全技術検討会議」の開催（2回）、「ワンストップ窓口」の運営（相談件数94件）等

○航空宇宙関連の研究開発の推進

新しい成長分野である宇宙産業の育成を図るため、企業や行政、研究機関等で構成する協議会を設置し、衛星データ利用分野における新ビジネス創出に向けた取組を進めた。

衛星データ利用ビジネス創出協議会設立（会員数 75企業・団体）

○HOKKAIDOブランドの積極的発信

ASEAN等を対象としたブランドストーリーの検討や商談会の実施、各種メディアを活用した情報発信を行い、HOKKAIDOブランドの浸透を図った。

道産工芸品のデザインが高く評価され、シンガポールの専門店で常設販売化

戦略分野4：健康長寿・医療関連産業の創造

○産学官連携などによる機能性食品等の研究開発や販路拡大

道産食品について、イスラム圏市場の新規販路開拓、機能性食品やスイーツのASEANにおける販路拡大を図るため、商談会やセミナーを開催するなどして継続的な取引に向けた商流の構築に取り組んだ。

UAE（ドバイ）における商談会の開催、イスラム圏ビジネスセミナー（札幌、帯広）の開催 ほか

○バイオ技術の研究促進とバイオ産業の振興

成長する健康長寿市場を捉え、本道の強みである豊富で優れた食資源を活かした機能性食品・素材のバリューチェーンを強化することにより、関連産業の付加価値と競争力の向上を図った。

機能性素材に係るヒト介入試験の実施、食品メーカー等との面談実施によるヘルシーD。申請案件の創出 ほか

○医療機器・医薬品等への道内企業の参入と集積促進

道内大学・研究機関等の研究シーズの把握や道内ビジネス環境の情報発信、企業訪問など、健康・医療分野での企業誘致活動を重点的に展開し、関連企業の道内誘致を推進した。

健康・医療分野研究シーズ集（日本語版2,000部、英語版500部）を作成

戦略分野5：新しい環境・エネルギー社会への挑戦

○エネルギーの地産地消の促進

地域のエネルギーと経済の地域循環による持続可能な地域づくりに資する設備導入等を支援することにより、エネルギーの地産地消の取組を推進した。

新エネルギー設備の導入に向けた設計費や新エネルギー利用に関する設備導入などを支援

○データセンター等の誘致推進

本道の冷涼な気候や豊富な新エネルギーを活かし、道と地域が連携して環境配慮型のデータセンターの誘致活動を実施し、「バックアップ拠点構想」の取組を推進した。

データセンター誘致に向けた企業訪問の実施、北海道の立地環境をPRするセミナー・交流会の開催

○新エネ・寒冷地技術の研究促進と関連産業の振興

水素社会実現戦略ビジョンを推進するための水素サプライチェーン構築ロードマップに基づき、水素サプライチェーンの構築を着実に推進するため、水素・燃料電池普及キャラバン等を実施し機運醸成を図った。

水素・燃料電池普及キャラバンの実施（18地域24回） ほか